HUMANO

2023.7 vol. 9













IYEOの 人と思い

受入れ特集

IYEO は 47 都道府県に組織を持ち、地域のニーズに合わせた様々な活動を展開しています。 今号は令和5年度内閣府青年国際交流事業の受入れを担当する各地にインタビューをおこ ないました。どんな想いで活動しているの?アピールポイントを教えてもらいました。

各事業開催日程

0 0

※諸般の事情により、日程が変更されることがあります。

\国際社会青年育成事業 /

^{余和5年} 7/5砂-8⊕

①事前研修(合宿・全4日)

令和5年

7/16**@•23**@

②事前研修(オンライン・2日)

A日3時間程度

令和5年 9/2⊕•3⊕

③オンライン交流(地域別に各1日)

中南米地域 欧州地域

令和5年 10/4ക•5ക

④出発前研修(2日)

令和5年

10/6**⊕**−15**⊕**

⑤日本青年海外派遣(10日)

令和5年 10/16**g**-19**a**

⑥国際青年交流会議(4日)

令和5年 10/20@-21**@**

(7)帰国後研修(2日)

令和 6 年

2月予定

⑧オンライン事業報告会(1日)



\日本・韓国青年親善交流事業 /

令和5年 7/5∞-8⊕

①事前研修(合宿・全4日)

令和5年

7/15-22-

②事前研修 (オンライン・2日)

各日 3 時間程度

令和5年 10/16**⊕**•17**⊗**

③出発前研修(2日)

令和5年

10/18 4-11/14 ④日本青年韓国派遣(15日)

令和5年

11/2-3-3

(5)帰国後研修(2日)

令和 6 年

2月予定

⑥オンライン事業報告会(1日)



編集メンバーの疑問 各事業の日程が分からない。 どんなスケジュールで受入県を訪問するのかな?

\「東南アジア青年の船」青年会議 /

\$115# 9/24⊕

①事前研修オンライン 14:00~18:00の4時間

^{会和5年} 10/28⊕-29**ョ**

②事前研修 対面(都内宿泊施設)

11/12**@•19**@

③オンライン交流プログラム

14:00~18:00の4時間

令和5年

11/29 - 12/8 4 外面交流プログラム 10 日間

(都内又は近県の宿泊施設)

^{令和5年} 12/8金−9⊕

(12月1日~4日に地方プログラム) ⑤事後研修対面(都内又は近県の宿泊施設)

令和6年 1/21日

⑥事業報告会 オンライン

(1月14日(日)リハーサル実施予定) 14:00~18:00の4時間を予定





^{会和5年} 8/30分-9/3**ョ**

①日本参加青年事前研修5日間(都内研修施設)

令和5年 11/4**@** -5**@**

②オンライン交流1回目2日間

★和5年11/25**⊕-26●** ④ オンライン交流 3 回目 2 日間

章和5年 11/4**⊕-2/29**录 ⑤オ<mark>ンラ</mark>インでの自主的な交流

(委員会活動・対面交流・地域実践活動準備等)

1/24 - 2/22 ⑥中央(東京)プログラム出港~寄港地活動

~地域活動~事後研修

国際社会青年育成事業

\岩手県/



藤波 大吾 さん 参加事業・年度: 国際青年育成交流事業平成 24(2012) 年度

Q1.今どのような関連の仕事や活動をされていますか?

岩手の山の中の寺で住職をしながら、主にオンラインで外国人に日本語を教える日本語教師の仕事をしています。岩手県 IYEO では会長として活動させていただいています。

02.令和5年度内閣府事業受入県に手を挙げた理由を教えてください。

岩手県に住んでいると、都市部に住んでいるより、明らかに外国人と接する機会が少ないです。正確に言うと、多くの外国人に出会う機会が少ないです。会話をしたり、何かについて話し合ったりする機会となると、さらに少ないです。地域の文化の底上げには、外国人を始めとするいろいろな考え方や文化を持っている人に会うことが必要だと思います。内閣府青年国際交流事業の受入れをとおして、岩手県に異なる文化と接する機会を増やしたいと考え、手を挙げました。

アピールポイント!

令和5年度の受入れのテーマは「災害対策」です。東日本大震災から12年が経ち、岩手県では災害対策、防災に関する経験、知見がさらに蓄積されてきています。 直接的に災害の被害を受ける場所だけでなく、周辺市町村等が被災地をどのようにサポートしていくのかという点にも<u>焦点をあてていきたいと考えています。</u>



教えて! IYEO 事業幹事!

[1].国際社会青年育成事業幹事から見た国際社会青年育成事業の魅力

国際社会青年育成事業(以下、INDEX)は、日本と相対する交流国が1派遣団(10数名)に対して 1~2 か国(令和5年度の場合日本青年の派遣は1 か国、相手国の青年は10名程度)と少なく、より深くお互いの国を知ることができるのが魅力です。日本青年は1 か国に2~3週間派遣され、現地政府機関、要職に就かれている方への表敬訪問等、日本代表の青年として様々な方と交流します。相手国の方にとっては「これが日本人か!」というモデルになるため、気は抜けません!これは招へい青年団として来日する外国青年にとっても同様です。日本青年・外国青年ともに、事業参加後に相手国の大学へ進学したり就職したりする方も多くいらっしゃいます。

Q2.地方受入れの思い出

私の故郷香川県でのINDEX受入れに参加する事が多いのですが、外国青年の下調べが物凄く、「香川はうどんというヌードルが有名なんだよね!」と食い気味に話してくれる方が多かったです!

しかし、とある小学校を訪問し、各クラスに外国青年が参加して小学生から質問を受けるとき、うどんに関する質問が 5 問ほど続いた時がありました(うどんの食べ方、好きなトッピングなどなど)。小学生のうどん愛に外国青年が面食らっていたのを、この質問を英語に訳しながら横で見ていました(笑)



滝川 望 さん

参加事業・年度: 国際青年育成交流事業 (INDEX) 平成 19(2007) 年度

日本・韓国青年親善交流事業

\青森県/



竹中 恵理 さん 参加事業・年度: 「世界青年の船」事業 平成 28(2015) 年度

Q1. どのようなきっかけで IYEO に出会いましたか?

「世界青年の船」という事業があるのはなんとなく知っていたのですが、事業に実際応募してさまざまな説明を受ける中で、 IYEO という団体があることを知りました。自分も事業に参加した後は IYEO の活動に参加して、事業で学んだことなどをぜ ひ地域に還元していきたいと思うようになりました。

Q2.令和5年度内閣府事業受入れに手を挙げた理由を教えてください。

青森県において外国青年と地域の青年たちが交流し、学び合うような機会を創出したくて受入れに手を挙げました。これまで受入れを経験してきて、関わってくださる青年たちの成長が見られたり、ホストファミリーの方々も交流を楽しんでくださっている様子が見られたりすることがとても嬉しく、今後もこのような機会を作っていけたらと思っています。

アピールポイント!

青森県といえば、地域ごとに特色のある熱いお祭り、美味しい海産物や野菜などの食べ物があります。豊かな自然の中でできる様々なアクティビティもあり、世界遺産に登録された縄文遺跡群から、縄文文化を感じ・学ぶこともできます。そしてなんといっても、各地域で独特の方言を話す、あたたかい地域の方々がいらっしゃいます。ぜひ皆さんも青森に遊びにいらしてくださいね。

\富山県/

Q1.今どのような関連の仕事や活動をされていますか?

通信制高校の教員で、今はフリースクールに力を入れています。学校がどんどんつまらなくなっているように感じます。「学ぶって楽しい」ってことを忘れているのではないですかね?成績とか評価とか気にせず、やってみたいことにチャレンジできる楽しい学校を作っていきたいと思います。いろんな学びのスタイルがあってもいい。選択肢がたくさんある社会にしていきたいです。

Q2°令和5年度内閣府事業受入れに手を挙げた理由を教えてください。

基本的には富山はいつも受入れに対して積極的に手を挙げている県だろうと思います。わたしの推測ですが、 富山に外国の方が来るのが珍しいのと、富山を世界にアピールするチャンスだと思っているのでは?とにかく、 富山の良さをたくさん感じてもらいたいと思っています。



飯田 良智 さん

参加事業・年度: 「青年社会活動コアリーダー育成プログラム (青少年ドイツ)」 平成 26(2014) 年度

アピールポイント!

富山といえば「立山」と「富山湾」でしょう。海から見える立山連峰はほんとに美しいです。名水 100 選に選ばれる水は4つもあり、水がとってもおいしい。 そしてお米もとれる。なので、おいしいお酒もつくられる。海が近く新鮮な魚、刺身やお寿司もとってもおいしい。酒がすすみます。のんべえの皆様、ぜひ ぜひ富山に遊びに来てください。おいしいお酒を飲みながら未来について語り合いましょう!

教えて! IYEO 事業幹事!



宮城 和希 さん

参加事業・年度: 日本・韓国青年親善交流事業 平成 28(2016) 年度

[4].日本・韓国青年親善交流事業幹事から見た日本・韓国青年親善交流事業の魅力

韓国事業では政府機関の訪問、現地の青年たちとの交流、ホームステイなど、旅行では経験することができないような貴重な機会が設けられていて、様々な角度から韓国を知り、感じることができます。また韓国事業には「韓国」という国自体に興味を持つ青年が多く参加しており、内閣府青年国際交流事業以外にも様々な形で日韓交流に関する活動をしている方が多いため、韓国事業参加後にも「日韓交流」という軸で繋がりを広げられることが最大の魅力だと思います。

Q2.地方受入れの思い出

韓国でのホームステイでは、ホストファミリーに観光地を案内していただいたり、家庭料理を振る舞っていただいたりと現地の方々の暮らしを垣間見ることができとても楽しい思い出ができました。事業参加後 7 年が経った現在でもホストファミリーと連絡をとっていて、実際に会いに行ったこともあります。2 泊 3 日の短いホームステイでしたが、そこでの繋がりは一生のものとなっています。

「東南アジア青年の船」事業





Q1.あなたにとって IYEO 活動とは。

私にとって NEO の活動は、異文化・多世代交流の貴重な機会だと思っています。私は、派遣された時だけではなく、受入れ事業や自主 事業などに参加し、異文化交流をしてきました。他の文化や価値観を理解し尊重することを通じて、視野が広がり、自分自身が成長する ことができたと思います。また、仕事や家事に追われ、日常生活では、他業種の方や、学生に会う機会はほとんどありません。しかし、 MEO 活動では、異なるバックグラウンドをもつ方や学生と一つのものを作り上げる経験ができます。この経験は、とても刺激的で、私自身、 仕事に活かしたり、生活が豊かになるような、新たな視点やアイデアを得ることができています。このように、私にとっての IYEO 活動は、 世界・世代をつなぐ一員として成長し、新たな世界に出会うことのできるとても刺激的な場所です。

白木 亜衣子 さん

42.令和5年度内閣府事業受入れに手を挙げた理由を教えてください。

参加事業・年度: 日本・中国青年親善交流事業 平成 21(2009) 年度

愛知県が内閣府青年国際交流事業の地方プログラムの受入れに手を挙げた理由は、昨年度東南アジア青年の船オンラインプログラムを実 施し、その参加者のみなさんと、次こそは愛知県に来県してもらいたいと話をしたことがきっかけです。また、子育て世代の会員が増え 子供を含めた交流ができるようになってきた点からホームステイも実施したいと考え、希望しました。愛知県で受入れを実施することで、 コロナ禍で失われてきた、若者たちの国際交流の機会にもなれば嬉しいです。

アピールポイント!

愛知県は名古屋市を中心に先進的な産業と伝統文化が融合するなど、多様な魅力があります。世界的に有名な観光スポットや名古屋メシをはじめとしたグルメなど、 五感を使って楽しむことができるところも魅力です。最近では、ジブリパークの開園などもあり、日々魅力がアップし続けています。また、愛知県にはトヨタ自 動車をはじめとする世界的な企業が集まり、産業の最先端を牽引していることでも知られています。一方で、伝統工芸やお祭りなどの文化体験も豊富で、魅力的 なコンテンツが実はたくさんあります。こんな愛知県に、ぜひ一度お越しください!個性豊かな愉快な MEO メンバーが、皆様を愛知県のディープな世界にご案内 します。

\長崎県/

[1].どのような関連の仕事や活動をされていますか?

中学校の教員をしています。 YEO で出会った方々のご協力をいただきながら、平和を祈る折り鶴プロジェクトでフィリピンの小学校との 交流をしたり、世界で活躍される方々をゲストティーチャーとして、国際機関のお仕事セミナーを開催したりしています。私が出会った 中学生が将来、日本や海外を問わずどこにいても、自分らしく活躍できることを願い、学校と海外を繋ぐお手伝いを続けたいと思います。



以前より、長崎県は主に「東南アジア青年の船」事業の受入れを毎年のように行ってきました。令和2年度も受入れを予定していましたが、 新型コロナウィルス感染症の影響で中止に。受入準備は簡単なことではありませんが、毎回、東南アジア各国の PY(参加青年) たちが訪 問した長崎の高校生やホームステイ先の家族に、また交流したい、またホストファミリーになりたいという気持ちにさせてくれる、そん な素敵な思い出を残してくれるからです。



山田 公美 きん

参加事業・年度: 「青年社会活動コアリーダー 育成プログラム」平成 16 (2004) 年

アピールポイント!

「多文化共生の先駆けとしての長崎」鎖国時代の約 200 年間、長崎・出島は海外に開かれた日本の唯一の窓口でした。1859 年の開国後も世界貿易都市としてさら に栄え、「日本初・長崎発祥」と言われるものが数多く残っています。その多くが西洋を始めとする諸外国の人々によってもたらされ、地元長崎の人々とのふれあ いの中で育まれたもの。昔も今も長崎の街並みや生活に影響を与え続け、長崎の独特の雰囲気を創り出しています。また、江戸時代から幕末にかけて長崎には最 新の学問や技術を求め、見聞を広めた全国各地からの数多くの若者たち。その方々こそが後に日本の歴史を動かす原動力となり、地方振興の立役者でした。IYEO の活動で長崎を盛り上げたいと思います。ご支援よろしくお願いいたします。

山梨県



参加事業・年度:

🔃 IYEO の活動に関わっている動機・意図

仕事を通じ内閣府青年国際交流事業を知り、参加させていただいたことで生きている世界が広がりました。ささやかな日々の中に、数多 くの機会が転がっていることも、事業に参加した後で気付けるようになりました。親の見ている世界が、子どもたちの世界を狭くも広く もすると思っています。自分が子ども時代、知らずに通ってきた広い世界を見るきっかけを子どもたちに示してあげたいという一心で事 後活動を続けています。

山梨県は2年に一度、受入事業をさせていただいてきました。会員自らが地域を知るきっかけになると共に、県内外での新たな出会いの 機会でもあると思っています。山梨県で受入事業が展開されることで内閣府青年国際交流事業の認知度もあがり、県民の国際交流への啓

アピールポイント!

山梨県といえば、豊かな自然と食べ物です。山に囲まれていて落ち着きます。キャンプ場やフルーツ狩りなど自然いっぱいの中に身を置いて、癒されるスポット がたくさんあります。また、世界遺産富士山の壮大な美しさはパワースポットです。

\山形県/



福島 彩子 さん

参加事業・年度: 「世界青年の船」事業 平成19 (2007) 年度

Q1. どのようなきっかけで IYEO に出会いましたか?

20 代のころ参加した「世界青年の船」事業がきっかけで出会いました。事業が終わった後、宮城県・山形県の IYEO にて外国青年の地方プログラムや、自主活動に参加し、たくさんの出会いと学びをいただきました。

新型コロナウイルス感染症で止まってしまった国際交流を通した出会いの奇跡をまた山形に取り戻したいと思ったからです。

アピールポイント!

山形といえば四季折々の楽しみがあります。豊かな自然とおいしい水と食べ物で、どのシーズンも充実した楽しみがあります! 初夏は有名なさくらんぼです。住んでいると購入する必要がありません。周りの誰かが必ずさくらんぼ農家とつながっていて、自宅に職場にさくらんぼがたくさん届きます。夏は、滝・川・海で思い切り水遊びが楽しめます。秋は芋煮のシーズン!牛肉と里芋の絶妙な味のハーモニーを仲間とワイワイ楽しみます。紅葉する山々も美しく、有名な観光スポットである山寺も秋の紅葉と共に楽しむのが人気です。おそばもおいしい季節になります! 冬は雪がどっさり積もります。スキーや、雪遊びが充実しています。スポーツの後は、温泉で体の芯まであたたまりましょう!山形県には、アクセスしやすい日帰り温泉がすべての市町村にあります。春になると、桜が見事に咲き誇ります。山菜もおいしいシーズンで、山々でとれた新鮮な山菜を天ぷらでいただきましょう。山々に囲まれた山形県、いついらしても、楽しみがあります。

\鹿児島県/-

Q1.あなたにとって IYEO 活動とは。

鹿児島から世界への選択肢を広げることと、鹿児島という地域の多様性を広げることの未来への種蒔き活動だと思っています。いつどこで、誰のためになるかはわかりませんが、自分自身が既参加青年の方々からバトンを受け取ったように、鹿児島から続くであろう次の世代へ、世界に開かれた選択肢と地域における多様性を受け継いでいきたいと思っています。いつかその種が芽を出して、大きな花を咲かせてくれる日を何よりも楽しみに活動を続けています。



園 翔太 さん

参加事業・年度: 「東南アジア青年の船」事業 令和元 (2019) 年度

Q2。令和5年度内閣府事業受入れに手を挙げた理由を教えてください。

「東南アジア青年の船」事業の受入れは、私の参加事業ということもあって帰国後から強く希望していました。2020 年度には、今回と同様に受入れが決まっていたものの、新型コロナウイルス感染症によって事業が中止となってしまいました。東南アジアの青年たちに鹿児島のことを知ってもらいたい、鹿児島の人たちに世界と直接触れること、そしてホームステイを通じてこの鹿児島で生活を共にする機会を作りたい、その一心で受入れに手を挙げました。

<u>アピ</u>ールポイント!

鹿児島といえば、なんといっても今でも噴火を続ける活火山の桜島。そして、明治維新を起こした偉人たちの存在、さらには、南北 600km に広がる広大な県土に豊富な自然と食。一日二日では到底満喫しきれないほど、あらゆる魅力に溢れた地域です。また、忘れてはならないのが、優しく温かく愛でいっぱいの鹿児島IYEO のメンバー。日本だけでなく、世界でも唯一であろうこの鹿児島に、是非遊びに来てください!

教えて! IYEO 事業幹事!



田島 如子 さん

参加事業・年度: 「東南アジア青年の船」事業 平成 11(1999) 年度

[1]。「東南アジア青年の船」事業幹事から見た「東南アジア青年の船」事業の魅力

東南アジア青年の船」事業は毎年参加国が固定されており、その名の通り「東南アジア」であるため、同じ事業に参加した外国青年に会いに行こうと思えば事業後も会いに行けます! 参加青年の家にホームステイさせてもらい、一緒に日常生活を送っていると、まるでその家族の一員であるかのようになり、私はマレーシアのキャビンメイトの家に4日間いただけで、英語の全く話せないお母さんと身振り手振りで意思疎通ができるようになりました。友達、その家族と何気ない日常生活をともに過ごすことによって、より深くその国を知り、大事な人が暮らすその国がさらに好きになります。また、いかに固定概念でしか捉えていなかったかを思い知ります。世界は狭くて、広くて、同じようで、同じじゃなくて、でも同じ、という不思議な感覚になれる事業です。

Q2.地方受入の思い出

日本を含め、各寄港地にて毎回ホームステイがあるのも「東南アジア青年の船」事業の魅力の 1 つです。対面時には、ホストファミリーと緊張気味に挨拶を交わしていたのが、2 泊 3 日一緒に過ごし、船に送り届けてもらう時には、お母さんに手を引かれていたり、小さい子どもがひっついて離れなくなっていたり、十代くらいの若い男の子に自分がホームステイ中のショッピングで買い込んだ荷物を持ってもらっていたり、まったく違う空気感となってきます。私もマレーシアのホームステイ中に、話好きのお母さんが寝させてくれずに夜中の 3 時までおしゃべりしていたよき (つらい) 思い出があります。「お母さん、眠いです。寝たいです。」といっても「ダメよ!船で寝なさい!ステイ中は話さないと!」と大変パワフルなお母さんでした。

「世界青年の船」事業





令和 4 年に実施された「内閣府青年国際交流事業の在り方検討会」の提言から、令和の時代にふさわしい新しい事業として、令和 5 年度「世界青年の船」事業が対面事業として実施されます。今年度事業では、特に寄港地活動が従来の形から大幅に変更され(230人×8日間×地域実践活動、230人×3日間×2か所の地域が問活動)、国内 3 つの寄港地を回ります。この規模と難易度のプログラムを企画・運営するためには従来の方法の地方プログラム受入れでは実現できない規模であるため、IMEOとしても内閣府の新しいプログラムや取組みに対し、どのように協力できるかを模索してきました。いよいよ実行に向けて動き出すにあたり、今年度の事業に関わってみたいという方を募集します。各寄港地の実行委員、通訳等に関心のある方は、こちらへご連絡ください。iyeo.swy.wg@iyeo.or.jp

\兵庫県/



山中 昌幸 さん 参加事業・年度: 青年社会活動コアリーダー 育成プログラム (青少年分野、イギリス) 2007年

Q1.今どのような関連の仕事や活動をされていますか?

3年前に東京にある大正大学の専任教員を辞め、大学発ベンチャーとして淡路島で起業をしました。淡路島は、日本最古の歴史書である古事記に「国はじまり」の島と記載され、日本がはじまった場所です。その淡路島全体を島まるごとラボと見立てて、ビジョンである「響きあう地球」の実現のために、地域を島外の若者や企業とつなぎ、ワクワクするプロジェクトの創出・支援をしています。2025年大阪・関西万博特には、100個のプロジェクトを世界とつなぐ「裏万博」の開催も目指しています。

02.令和5年度内閣府事業受入れに手を挙げた理由を教えてください。

上記の「裏万博」開催の一環として、世界をつなぐ機会になると考えたからです。とくに、「世界青年の船」事業の外国青年は、 各国の未来を担う若者であり、日本青年も世界と淡路島・日本との懸け橋になる存在になると思っています。その青年たちが 淡路島で少しでも心豊かな時間を過ごし、未来のために何かをはじめるきっかけになればと考えたからです。

アピールポイント!

(現地活動メンバー募集)淡路島の現地で活動できる IYEO メンバーは私だけです。そのため、淡路島の現地で準備段階からボランティアで手伝ってくれる人がいればめちゃくちゃ助かります。泊まるところはシェアハウスですが、こちらで用意します。どうぞよろしくお願いします。

\京都府/

森下 弘理 さん

所属(役職):

京都府庁総合政策環境部地域政策室 主事

Q.令和5年度内閣府事業受入れに手を挙げた理由を教えてください。

日本列島のほぼ中央に位置する京都府は、5つの地域(丹後、中丹、南丹、京都市及び山城)に分かれ、 北は日本海に面し、中部は山間地域、南には平野が広がっています。今回フィールドとなる丹後・ 中丹の北部エリアは、豊かな自然と歴史・伝統を有しており、地域の7市町が日頃から連携して、 地域の活性化や課題解決に一緒に取り組んでいます。その一環として、世界から参加される青年の 皆さんに北部地域の魅力を知っていただきたいとの思いで手を挙げました。

アピールポイント!

京都府は、日本の原点ともいえる歴史と伝統が根づいており、古都京都の街並みや寺社仏閣、 景勝地には四季折々の表情があり、世界中の方々を魅了しています。また京都市以外に目を 向けると、海や山の豊かな自然に恵まれ、それぞれの地域ならではの特色ある生活文化が息 づいています。

今回の受入れ地域となる京都府北部地域は、日本三景の一つである「天橋立」や伝統的な伊根の舟屋群がとても有名ですが、受入れ港となる舞鶴をはじめ、沢山の魅力が詰まった地域です。今回の事業を通じて、北部7市町(福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町及び与謝野町)の魅力を肌で感じていただければと思います。寒い時期ではありますが、温かな気持ちで地域の姿をご覧いただけるよう、精一杯準備を進めてまいります。





\高知県/

Q1. IYEO の活動に関わっている動機・意図

第 14 回「青年の船」事業への参加が人生のターニングポイントとなり、中国帰国者支援活動や国際援助活動、青少年国際交流活動を始めました。NEO活動を本格的に始めたのは、2013年にNEO全国大会(高知大会)の実行委員長に就任してからで、2015年の高知大会を経て、2016年度から高知県NEO の会長職を引き受けています。高知県NEO では、2016年度以降、高知大会のレガシープログラムとして毎年 100人から 200人規模のユースフォーラムを開催していますが、多くの青少年がフォーラム参加を契機として内閣府青年国際交流事業に挑戦したり、新しい自分の夢に向かって一歩を踏み出したり、大きく成長しています。そんな青少年の人生の成長を共有できる幸せは青少年育成活動の醍醐味ですし、NEO活動継続の最大の原動力になっています。



前田 正也 さん

参加事業・年度: 「青年の船」事業 昭和 55(1980)年度

🔐 🚓 🛈 5 年度内閣府事業受入れに手を挙げた理由を教えてください。

これまで 30 年間、様々な海外ミッションの派遣や受入れを経験してきましたが、地域課題をSWY 青年とローカルユースと地域行政・NPO が共創解決するという、令和 5 年度「世界青年の船」事業地域実践活動の受入れは、プログラムの企画から実装まで、難易度とスケールにおいて、最もハードルが高いプログラムだと思い、IYEO 会員としての使命感とやりがいをもって応募しました。青少年育成と国際交流の分野において、これまで 30 年間、高知で積み上げてきたノウハウと経験、人脈を活用すれば、最高のプログラムができると思っています。

アピールポイント!

不特定多数の青少年を集めた青少年育成活動は、あらゆる活動の中でも最もハードルが高い活動です。有給職員や事務所、活動資金を有する行政や公益法人であっても成功している例は、全国的に見ても皆無に近い状態です。それがボランティアでの活動となればなおさらです。都道府県IYEOは、人材、資金、活動エリアにおいて独立した団体として、多くの幽霊会員とわずかな活動資金の中で、最も困難で崇高な「ボランティアによる青少年育成活動」というミッションを有しています。その事実を甘受し、実現したいと思っています。



教えて! IYEO 事業幹事!



高橋 香南子さん

参加事業・年度: 「世界青年の船」事業 平成 26(2014) 年度

[1].「世界青年の船」事業幹事から見た「世界青年の船」事業の魅力

よく「世界青年の船」事業は、Life changing experienceだと言われます。私も事業に参加してから10年弱経ちますが、あの時のあの経験があったから今の自分がいると思うことが多々あります。世界中の青年たちと日々を過ごし、コンフォートゾーンであり、ストレッチゾーンでもあるあの空間。そして、事業参加後もいつでも新たな挑戦ができ、受け入れてくれる、熱く一緒に語ってくれる、サポートしてくれる SWY ファミリーがいる。参加事業年度が異なっていても、"SWYer"という繋がりがあり続けることが何よりもの価値だと思っています。今年度より事業の内容が新たになったまたとないこの機会に、是非一緒に「世界青年の船」事業を創っていきましょう!そしてあの時の忘れられない感覚を一緒にまた感じましょう!

Q2.地方受入れの思い出

私自身、事業に参加した時に、那覇と大船渡で受入れをしていただいた経験もあり、既参加青年として様々な事業の受入れをサポートした経験もあります。観光では味わうことのできない、現地の方々の想いに触れながらその地を感じることができ、必ずまた成長して帰ってきたいと思ったことを今でも覚えています。そして、自分が受け入れる側になった際には、創り上げる側の想いと、そのプロセス、当日の参加青年の笑顔を見て、達成感もひとしおで、やっぱりやめられないなあといつも思います。

編集メンバーの雑談

Q1. 出身地(もしくは在住地)の夏の風物詩といえば? **Q2.** 夏に負けるな! 最近ハマっている飲み物



もえ 横倉 萌子

参加事業:なし 出身地 : 奈良市 在住地 : 大阪市

A1. 天神祭り

日本三大祭りの一つ大阪の「天神祭り」

私の好きな天神祭の見どころは船渡御(ふなとぎょ)です。たくさんの船が大川を賑やかに行き交います。船と船がすれ違う度におこなう「大阪締め」で一体感を味わいましょう。疫病退散・世界平和を祈願して。「打ちまーしょ」パンパン「もうひとつせー」パンパン「祝(いお)うて三度」パンパンがパン

A2. イブリックと シングルバーナーで 淹れるトルココーヒー







あやねえ 大野 絢子

参加事業: 平成 27(2015) 年度

「日本・韓国青年親善交流」事業

出身地 :福岡県在住地 :福岡県

A1. 博多祇園山笠

A2. 美酢





はるちゃん 坂野晴子

参加事業: 平成 30(2018) 年度

国際青年育成交流事業

(オーストリア派遣)

出身地 : 千葉県 在住地 : グアテマラ

A1. 海

常春の国グアテマラにも、 きれいな海があります!

A2. Gallo(グアテマラビール)

初めて飲んだ時は、正直日本の ビールと比べて味に深みがないなと 、物足りなく思っていました(笑) でも、今は水のようにゴクゴク飲める キレのある Gallo が定番になってきました!





たっぴー 北山 英弥恵

参加事業: R2 (2020) 年度地域課題対応

人材育成事業「地域コアリーダープログラム」

出身地 : 奈良県 在住地 : 奈良市

A1. おふさ観音の風鈴まつり

橿原市にある「おふさ観音の風鈴まつり」 風情があって、人もほどいよい感じで良いですよー



A2. ポングレープスパークリング 他の炭酸グレープよりぶどう味が濃厚な気がする~



レナ 衣川 玲奈

参加事業:「東南アジア青年の船」事業

出身地 : 奈良県 在住地 : 奈良県



竹の筒に入った蝋燭を大量に置き、 奈良公園内を灯す幻想的な行事です

A2. ジンジャーエール辛口





A1. 盆踊り

ダンシングヒーローの盆踊りの発祥の地です!

A2. 手作りのジンジャーエール



ジーニョ

河尻 諭

参加事業:未来創造会議 2022

出身地 :岐阜県在住地 :愛知県



A1. 鈴鹿サーキットの花火

A2. レモンサワー





参加事業:デザイン 出身地 : 三重県 在住地 : 愛知県

MILINI VIIV ...

表紙写真について

2023年3月12日に東海ブロックイベント「東海グローカルユースチャレンジャーズサミット」が開催されました!

Think Globally, Act Locally for Society & Future! Challenge for Challengers を テーマに東海を越境するチャレジャーの高校生大学生から若手社会人、団体の長まで多様な人が集まり、青少年国際交流を通して国際社会や地域社会に向けて自分たちが何ができるかを考え、これから行動していきます!! 本年度も愛知県で同イベント実施に向け企画中です。

2024年3月16日(土) ぜひ今から日程を空けて詳細情報が出るのをお待ちください。

IYEO 広報誌 HUMANO vol.9 編集・発行 日本青年国際交流機構(IYEO)International Youth Exchange Organization of Japan 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-35-14 東京海苔会館 6 階 電話:03-3249-0767 / FAX:03-3639-2436 / E-mail:press@iyeo.or.jp

ウェブサイト http://www.iyeo.or.jp/ 活動報告や会員のインタビュー等、随時更新中! HUMANO は会員手作りの広報誌です。一緒に活動するメンバーを募集しています。

編集:衣川玲奈、河尻諭、大野絢子、坂野晴子、北山芙弥恵、伊丹俊剛、洲崎長子、横倉萌子

デザイン:田中杏



|YEO 会員の活動紹介

田中 南欧子 さん

1980 年第7回「東南アジア青年の船」事業日本参加青年 1995 年第22回「東南アジア青年の船」事業ナショナルリーダー 1998 年第12回「日本・韓国青年親善交流」副団長

2004 年~ 2007 年日本青年国際交流機構 (IYEO)会長

2014年第21回国際青年育成交流事業・ドミニカ共和国派遣団団長

2022 年 ~現在 茨城県青年国際交流機構顧問







43 年後の大同窓会! !~そして航海は続く~

皆様こんにちは!マミーこと茨城県在住の田中南欧子です。IYEO の会員歴はとても長いのですが、私の人生において思い出に残る大きなイベントを東京で開催することができましたのでご紹介したいと思います! それは私がなんと 43年前に参加した第7回「東南アジア青年の船」事業の同窓会でした。



1980年11月に成田空港でそれぞれの母国に帰る友人たちを涙で見送った時にはまさか43年後に再会できるなんて思ってもみませんでした。連絡手段としては手紙と電話しかなかったあの頃です。しかも船で一度も話したことがなかった人でも久しぶりに会った瞬間から懐かしさがこみあげて不思議な感覚を覚えました。

この記事の続きは IYEOHP ブログで公開中!

▶https://www.iyeo.or.jp/blog/2023/07/06/9181/イベントの準備から当日の運営までの詳細や秘話をまとめましたのでご覧ください。



2023 年4月25日13時から、東京のホテルルポール麹町で参加青年(PY)と管理部員(ADM)、家族、友人、お手伝いのボランティア等総勢56名(そのうちASEANから23名)もの方々が一堂に会し、盛大なパーティーが始まりました。実はコロナが流行する直前にインドネシアで40周年のリユニオンが計画されていたのですが、延期になり43年という半端な年ですが、とにかく皆様早く集まりたいという気持ちで半年前から準備を進めてきました。

きっかけは、ADM のお一人からいただいた同窓会をやりたい!という1本のお電話でした。ちょっとお声をかけたらあっという間に規模が大きくなり、ZOOMで2回のミーティングをするといった40年前にはなかったSNSをフルに活用し、グループを作り、情報交換やアイデアを出し合って、どんどん準備が楽しくなってきました。



また、今回準備の段階から副実行委員長として多大なサポートをしてくれたシンガポールの Tan Soon Hoe さんは、シンガポールの事後活動組織の元会長で、SSEAYP International(東南アジア青年の船事後活動組織)の役職の経験もある方ですがメッセージが届きましたので一部抜粋でご紹介させていただきます。

Gratitude brings 60 former PYs & family members of 7th SSEAYP reunited after 43 years

PEOPLE

Former PYs of 7th SSEAYP organised a successful 25th Anniversary reunion in Thailand in 2005, thanked to the local Thailand SSEAYP Alumni, ASSEAY Thailand. When Ms Naoko Tanaka floated the idea of having a 43th Anniversary reunion in Tokyo with a Gratitude theme, i.e. with all the Administration Staff to be invited to show our appreciation for their great effort In coordinating the 52days SSEAYP in 1980, all the country representatives responded with great excitement and enthusiasm.

PROMISE TO MEET AGAIN

Any Reunion is considered in-complete without the participation of the local alumni association, our sincere appreciation to IYEO, of which Ms Naoko had served a term as President, for supporting our 7TH SSEAYP Reunion 2023. The Reunion ended with a common promise to meet again in next SIGA 2024 to be hosted by ASSEAY Thailand, an annual reunion by SSEAYP International(SI), while all former participants committed to start their own communication network or chatgroup made possible by Facebook, LINE and WhatsApp. While some stayed back in Japan with planned tour to prefectures, we all agreed to meet again in 2024 SIGA if possible and committed to be there in our 45th Anniversary to be hosted by PPYs in 2025.



Tan Soon Hoe

この大同窓会の開催のために協力してくださったすべての皆様に深く感謝申し上げます。PPA(事後活動)は IYEO の醍醐味です。 またどこかで皆様にお会いできる日を楽しみにしています。マミーより。